

## 無料化の早期実現を!!



水海道有料道路について



水海道有料道路

**議員**

現在、水海道有料道路の1日の利用状況は。

**都市建設部長**

平日で約3000台である。

**議員**

岩井バイパスが開通する前はどうか。

**都市整備課長**

約2200台である。

**議員**

岩井バイパスの開通により、大体800台増えている。利便性を感じて通行し始めた方もいるのかなと思う。目前に控えて

いる圏央道の開通により、利用台数が大幅に増え、今の交通状況が大きく変わる可能性もある。最も交通量の多い朝6時から9時の通勤時間帯に、小中学生の登校時間が重なり、子どもたちの通学路の危険度が上昇している。長い渋滞の列を避けて、子どもたちが歩く狭い道路を我先にと急いで、減速しない方も当然いると思う。交通渋滞は当市だけではなく、近隣自治体との関係も出てくると思う。これまで近隣自治体と緩和策を検討してきたか。

**都市建設部長**

国道354号整備促進協議会を通して無料化の要望をしている。

**議員**

(無料化に伴い減収となる)

約8000万円の補てんを当市で全額負担できればいいが、それは難しい。関係自治体が納得いくような形での分配ができればと思う。市長は県議時代から無料化について、積極的に取り組まれてきたと思うが。

**市長**

通学時間帯の無料化を公約に掲げており、早期実現に向けて工程表をつくるよう指示をしているところである。



## "新"防災計画に必要な視点

真に住民目線に立った防災計画づくり(新たな防災計画の転換を)

**議員**

これまでの防災計画は、未然防止対策は重視されず、応急的・対症療法的なもので、財産・生活を守るという視点がなかった。災害で財産を奪われて特に苦しむのは社会的弱者である。そういう人たちを守るという視点がなければ、本当の意味での住民目線に立った防災計画にはならないのではないか。

**市長**

命を守ることを優先して、被災者生活再建支援法も財産形成に寄与しない助成ということに限度が決められている。そういった制度的な不備を国へ要望していきたい。

**議員**

豊岡グリーンヒルは、雨が降ると玄関口まで水が押し寄せてくる。こういう常時洪水地域、危険地帯の対策を防災計画に入れるべきではないか。

**市長**

慢性的に水に悩んでいる地域の抜本的な解決策を検討するよう指示をした。あわせて県の土

木部長や国交省の方々などにも相談をしている。

**議員**

防災の中で、助け合いが必要だというときに、地域共同体のパワーがなければ地域は守れない。災害に備えて自主防災組織をつくり、地域力を育て上げるということが必要だと思う。防災士の資格取得に対する補助は20人だけではなく、もっと大幅にやる考えはないのか。

**市民生活部長**

補助については現行どおり継続していく。新たな援助としては、今のところ具体的にはない。水害の教訓を生かした防災計画、そして本当に住民の立場に立った防災づくりが必要である。

**議員**



市民の生活・財産も守る

関  
優  
嗣  
議員

堀  
越  
道  
男  
議員